

小見高 スポーツ



平成29年9月9日
発行

創刊号

発行：
千葉県立
小見川高等学校

水上の王者！小見川高校

今年もインターハイで活躍！

小見川高校のボート部、カヌー部は平成29年度南東北総体で素晴らしい成績をおさめました。インターハイの結果と出場選手からのメッセージをお伝えします。

ダブルスカル3年連続上位入賞！

ボート部 ダブルスカル 長尾・木村ペアは惜しくも2連覇を逃しましたが、堂々の3位、ダブルスカルは3年連続の上位入賞を果たしました。シングルスカルで出場の熱田は、高校からボートを始めたにもかかわらず、3年間で急成長し、準々決勝への進出を果たしました。3人とも国体への出場が決まっていますので、国体での活躍を期待します。



ボート部結果

男子ダブルスカル 3位

木村太一（写真左） 長尾磨周（写真中央）

男子シングルスカル 準々決勝進出

熱田敏信（写真右）

出場選手からのメッセージについて

- ① インターハイを終えての感想
- ② 自分のやっている競技について
- ③ 日頃の練習で心がけていること
- ④ 今後の目標
- ⑤ 中学生へ送る言葉

ボート部

1 熱田 敏信 3年 栗源中学校出身

①今回入賞を目標にインターハイに臨みました。しかし、結果は準々決勝止まりで終わってしまいました。とても悔しい気持ちの反面、全国の

地で各都道府県のトップたちと一緒にレースできたという満足を感じ、さらに上を目指していきたいと思っています。②私はシングルスカルという艇で競技をしています。高校ボートは1人乗り、2人乗り、4人で舵手1人という3つの艇があります。これらはそれぞれに魅力があり、注意するところが違います。私のシングルスカルはゴールまで1人で漕ぐ必要があります。レース中の状況判断なども重要です。③私は第一に「キヤッチ」というオールを水面に入れる動作に気をつけています。そして力強く漕ぐことを心がけています。④今後は国体で入賞を含む良い成績を取ることにも行きたいということです。中には体力がないから無理という人もいますが、私も行きたいです。中には体力がないから無理という人もいます。ボートはつらい競技ですが、そこは勇気をもって入部してみましよう。将来のみなさんの活躍に期待します。

2 木村 太一 3年 小見川中学校出身

①全国から強豪が集まっているので他のチームのレースを見るのとても勉強になりました。連覇とはいきませんが強敵がたくさんいる中で3位をとれたのがよかったです。②ボートは2本のオールを使っている中で3位をとれたのがよかったです。③ボートは2本のオールを使っている中で3位をとれたのがよかったです。④国体が高校生の最後の大会になるので優勝できるように頑張りたいです。⑤高校の部活は中学より内容も質も上がり本格的になります。その分、精神的にも鍛えることができます。中学の時より様々な人と交流することが多くなり、人間的にも成長できると 생각합니다。

3 長尾 磨周 2年 佐原中学校出身

①最後のレースで自分の出せる最大限の力を出せたので、レースの内容に関して悔いは残っていませんが、インターハイで優勝するという目標には手が届かなかったのが悔しいです。この大会を通して自分に足りない部分などにも気づくことができましたので、良い大会になったと思います。②ボートはシングルスカルをはじめとする様々な種類がありますが、複数で漕ぐダブルスカルやクオードブルなどのクルーボートでも、最後は自分との戦いだと思っています。レース後半、きつい中でいかに自分に負けず良い質で漕ぎ続けるかが勝負を分けるポイントだと思います。ボートのこういうところが面白いと思います。③日頃の練習で心がけていることは、練習できなくなったときもポジティブに考え、決して練習への姿勢や練習の質を落とさないようにしています。練習が嫌だと思いう時もありません。

が、アップの時などにしっかりと気持ちをを入れ直し、練習に集中できるようにしています。④今回のインターハイで優勝という目標を達成できなかったのが来年はしっかりと優勝したいと思っています。そのためには、県、関東と1つ1つ勝ち進んでいかないとはいけません。日頃の練習で、指導者からのアドバイスをしっかりと聞き、自分の弱いところを克服していきたいと思っています。⑤今自分の持っている目標の実現のため、何をしたらいいのか、何が大事なのかを、自分でしっかりと理解し行動することが大事だと思います。

6種目で決勝出場、女子総合3位！

小見高カヌー・ガールズは全員1年。しかし、6種目で決勝への出場を果たし、カヤックシングル500mで高野が準優勝しました。また、女子総合では全国3位という素晴らしい成績をおさめました。

高野、諏訪、柳堀は国体への出場、さらに、高野、諏訪はチエコで開催されるオリンピックホープスへの出場が決定しています。国内だけでなく、世界に小見高カヌー・ガールズの名を轟かせてほしいものです。



カヌー部（女子）結果

女子カヤックシングル 200m 8位 500m 2位

高野真緒（写真左から3番目）

女子カヤックペア 200m 6位 500m 4位

諏訪智美（写真左から2番目）

柳堀あいり（写真左端）

女子カヤックフォア 200m 5位 500m 3位

諏訪智美 柳堀あいり 高野真緒

高橋星菜（写真右端）

女子総合 3位

諏訪智美 柳堀あいり 高野真緒 高橋星菜

カヌー部（女子）

1 諏訪 智美 1年 小見川中学校出身

①出場した種目すべてで入賞することができましたが、目標としていた優勝ができなかったのが悔しかったです。②自然が相手なので雨や風、波などの影響を受けやすくなかなと思うようなレースができないこともあります。でも、大

会で強い選手と戦えた時や、自分なりに漕ぎ切れた時は、気持ちが良いです。
③練習は、はつきりいつて楽しいというよりは苦しいことの積み重ねです。一緒に頑張れる先輩や仲間がいるからこそ、練習は裏切らないと思つてやつてこられました。自分に負けないこと、あきらめないで前に進んで行くことを心がけています。
④国際大会で少しでも良い成績を出し、来年の大会はすべて優勝を目標にしたいです。体は小さいけど誰にも負けないパワーをつけたと思います。
⑤勝つことを目標にした練習は大変なこと辛いことも多いと思います。が、努力をした分だけ結果がついてくると思います。自分に負けないで頑張ってください。

2 高野 真緒 1年 小見川中学校出身

①まさか自分が2位をとるなんて思ってもいませんでした。荒れた環境の中で練習した成果が出たので良かったです。
②冬は寒く体が動かないので大変です。でも、勝つ時の喜びはどの競技よりも大きいと思います。
③コーチに言われたことを意識してやっています。言われたことをするために何が足りないのかを自分で考え、足りてないところのトレーニングをしたりしています。
④来年のインターハイで、WK-4で優勝し、再来年も優勝し2連覇することです。総合優勝したいです。
⑤才能がないとかセンスがないと決めつけず、頑張り続けてください。最後に勝つのは努力し続けた人です。

3 柳堀 あいり 1年 小見川中学校出身

①初めてのインターハイで緊張しましたが、日頃の練習の成果をしつかりと発揮することができました。納得のいく結果ではなかったのですが来年はインターハイの舞台でリベンジできるように頑張りたいです。
②全身を使うスポーツなので体にとっても負担がかかる競技です。全身をバランスよく鍛えたり、日々体のケアをしたりと大変です。でも、カヌーに乗った時に、船の進みや風を感じると、大変なことや苦しいことを忘れられる楽しさがあります。
③自分の直さなければならぬことを常に意識して練習に取り組んでいます。
④今回の大会では女子総合3位で終わってしまいました。今後は女子総合優勝を目指して頑張ります。
⑤日々の努力がこれからの大きな力になると思います。あきらめず頑張り続けてください。

4 高橋 星葉 1年 小見川中学校出身

①初めてのインターハイに緊張しました。自分の思ったことがあまりできませんでした。チームとしては、今自分たちができることをやれたので良かったと思います。
②腕だけではなく全身を使って漕ぎ、競技なのでとても体力を消費します。上手く漕げた時はカヌーの楽しさ面白さを実感します。
③コーチに言われたことを常に意識し、わからなかったらチームメイトやコーチに聞き、速くなるために水上で何をしたらよいかを考えて練習しています。
④今後行われ

る大会すべてでWK-4に優勝し、今回出られなかったWK-1、WK-2のどちらかに選手として出場できるように、これからの練習を大切にして頑張りたいと思います。
⑤レース前のアップをしつかりし、いかにレースで落ち着いていつも通りに漕げるかが大事だと思います。何よりレースを楽しむことが大事だと思います。

カナディアンシングルの200m 2位！

カヌー部男子は2名がインターハイに出場。カナディアンシングルの出場した鈴木は、ルーマニアで開催された世界ジュニア選手権後ということもあり、ベストコンディションではなかったものの、200mで準優勝の好成績をおさめました。福井は、決勝進出は果たせなかったものの、今後の成長につながる貴重な経験をしました。鈴木、福井の両名は国体へ出場、鈴木は10月に上海で開催されるアジア選手権大会への出場が決定しています。2人の今後の活躍に期待します。



カヌー部（男子）結果
男子カヤックシングル 200m 準決勝進出
500m 準決勝進出
福井伸紘（写真右）
男子カナディアンシングル 200m 2位 500m 6位
鈴木涼太（写真左）

1 福井 伸紘 2年 小見川中学校出身

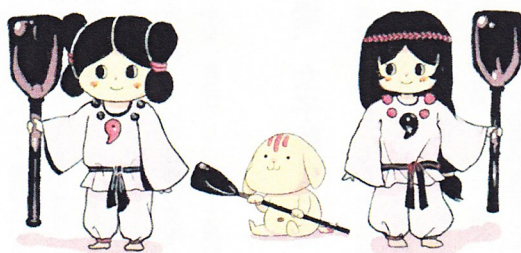
①ただただ実力不足を痛感させられました。すべてのレースで自分の実力を出し切れたことには満足していますが、パワー、スピード、テクニク、すべてをレベルアップさせないといけないと思いました。
②水面を滑る感覚が楽しいです。自分の技術、パワーが上がることによってスピードも上がり、楽しいです。練習は水上のトレーニングと陸上のトレーニングの両方をやるので2つをリンクさせるのが大変です。
③誰よりも長く水上で練習することです。陸上での集合が終わった後、1番に水上に出て、最後まで水上で練習することを心が

けています。
④インターハイでは1000点のレースができて、自分の現在の位置、課題を明確化できたので、国体までに少しでも改善し、国体では決勝に進出し、来年のインターハイでは入賞できるようにします。
⑤中学生の時は競技力向上にとっても重要な時期です。ご飯をバランスよく食べ体作りをしながら基礎の練習をしつかりやりましょう。

2 鈴木 涼太 3年 小見川中学校出身

①今回500m優勝、200m3位入賞を目標としました。世界ジュニアが終わってすぐにインターハイがあったため、時差ボケなどが治らず、ベストコンディションではなかったのですが、500mは悔しい結果に終わってしまいました。200mはいつも準決勝などで落ちていたので、準優勝は大変うれしい結果です。
②コックピットに立膝の状態でも乗り込み、右か左のどちらか一方だけを漕ぎ、タイムを競います。シングル（1人）、ペア（2人）、フォア（4人）があり、漕ぎ距離は200m、500m、1000mの3つに分けられます。
③自分でどれだけ周囲より良く漕ぎ、ことができるかを常に考え、自分と普段から厳しく、満足ができる結果をのこせるよう努力を続けることが大切だと考えています。
④国体でインターハイの借りを返し、500m、200mともに優勝します。アジア大会では決勝に残り一つでも上の順位を目指します。
⑤日本ではカヌーはメジャーなスポーツではないし、世界でメダルを取るような選手はあまりいません。カヌー競技者みんなで、この歴史を変え日本のカヌーを有名にしましょう。

小見高古墳トリオ



小見彦

忠犬おみ公

小見姫